

北陸農政局長賞受賞

～みんなでつなぐ“伝統”と“文化”と“環境”～

かなやまだにじちかい

受賞者

金山谷自治会

(富山県魚津市)

■ 地域の概要

金山谷地区は、魚津市の中心部から南に位置する中山間地域であり、千歩（せんぷ）と呼ばれる棚田や小区画の水田が多いことと、農業者の高齢化や担い手不足により、離農等が進み、営農の継続に不利な状況になりつつあった。



■ 主なむらづくりの内容

こうした中、自治会では、営農の持続と集落ぐるみで支援し合う「金山谷集落協定」を平成12年に設立し、その後周辺地域の環境整備を行う必要性から「農地・水・環境保全向上対策」の活動組織を平成19年に設立し、農家に非農家を加えた環境整備活動（ゴミの不法投棄回収、清掃・クリーン作戦など）を開始し、「“金山谷地区”皆で取り組む環境問題」をスローガンに、地域住民も巻き込んだ環境維持・保全活動を中心に地域づくりを展開してきた。

地元小学校との農作業体験、「金山谷獅子舞」（伝統行事）の保存、高齢者や女性も参加する「ふれあい花壇づくり」なども行い、地域コミュニティの醸成を図っている。

また、近年水稻への鳥獣被害が拡大してきたことから、集落ぐるみで「電気防護柵」を設置し、農作物のみならず、地域住民が安心して生活できる環境づくりも行っている。

自治会の地域全体にわたる多面的機能の発揮と活動は、住民自ら考え、力を合わせた取組として継続しており、地域の活性化に資するものである。

